



広報

いせん

No.326

全世帯配布 編集・発行 伊仙町役場 未来創生課 (情報発信ワーキンググループ)
〒891-8293 鹿児島県大島郡伊仙町伊仙1842
TEL 0997(86)3111 (内線27) FAX 0997(86)2301
URL <http://www.town.isen.kagoshima.jp/>

2017年(平成29年)1月号

目次

新年のあいさつ	2P~3P
祝・国指定「面縄貝塚」	4P
特集1「丸の内プラチナ大学・徳之島ツアー」	5P
特集2「わが町が誇る国指定(カムイヤキ陶器窯跡の秘密と発掘調査の秘密)」	8P
お知らせコーナー	13P
商工会の窓	21P
わが町のアイドル・戸籍のまど	22P

あけましておめでとうございます!

祝・奄美初 全国大会(3月・静岡県)出場決定!!

伊仙合同野球チーム

(面縄中・伊仙中・犬田布中合同)



新年のごあいさつ

伊仙町長

新年あけましておめでとう
ございます。年頭にあたり町
民の皆様とともに輝かしい新
春を迎えられましたことを御
喜び申し上げます。

いよいよ、今年2月の奄美
群島国立公園の指定を踏まえ
て、平成30年には奄美群島民
待望の「奄美大島・徳之島・
沖繩島北部及び西表島」の世
界自然遺産登録が実現しま
す。自然のみならず、奄美特
有の歴史や文化も世界的に認
められることで、さらなる交
流人口の拡大が期待される
ところであります。

さて昨年の我が国を取り
巻く情勢を振り返ってみま
すと、大規模地震の発生や、緊
迫した領土・領海の問題で、
国民の話題をさらっていきま
した。とりわけ、首都・東京
においては、東京オリンピック
に向けた環境整備や築地市
場の移転に伴い、莫大な税金
を投資することに賛否両論が
分かれるなかで、看過できな
い由々しき事例が明るみにな
り、地方自治体として税金に
対する意識改革と組織の統制
について改めて検証する必要

性が迫られました。

一方で、これらの事例を教
訓にしつつ、わたしたち町行
政において今年1年で優先的
に取り組むべき方針として
は、まず町民から信頼される
組織を目指してまいります。
特に、職員の資質向上並びに
人材育成も積極的に行ってま
いります。

より良い町づくりの推進に
ついては、まず安定した財政
基盤の確立が求められます
が、特に各種町税、国保税、
使用料、分担金等の徴収を強
化し、子や孫の世代のために
効率的で健全な財政運営に努
め、限られた財源や資源を最
大限活用して行政サービスを
提供するなど、さらなる行財
政改革に取り組んでまいりま
す。

町民の福祉向上に係る政策
においては、行政手続きにお
けるマイナンバーの利用につ
いて、町民の皆様への周知・
啓発にも努めて参ります。ま
た、消防・防災体制の充実・
強化や地域における自助・共
助の意識の啓発により災害に
強い人づくり・地域づくりを

推進してまいります。国保事業
については、相互扶助を基本
としていますが、現状は医療
費の増加に対して歳入が伴っ
ておらず、収支のバランスを
大きく欠いた状態が恒常的に
続いていることから、国保事
業の財政健全化に向けた対策
として、国保税適正賦課の実
施、徴収率の向上、医療費適
正化対策の推進、保健事業の
4項目を重点的に取り組み、
さらに地域包括支援について
は、高齢者が住み慣れた地域
で安心して暮らしていけるよ
うな地域づくりを目指し、ほ
ろい館を活用した介護予防
教室の充実、関係機関と連携
した地域で支え合う社会づく
りの推進、地方創生事業の活
用、在宅医療・介護連携推進
事業、認知症対策総合支援事
業の5項目にも取り組んでま
いります。

本町の経済基盤を支える農
業政策においては、5年振り
にサトウキビの豊作、馬鈴薯
並びに肉用牛の価格高騰で農
家の皆様におかれましては、
胸を撫で下ろしている所と推
察されますが、持続可能な力
強い農業の実現に向けた取り
組みとして、畑地帯総合整備
事業の推進並びに徳之島ダム
の一部通水を契機に、農業水
利施設の防災対策として、町

内3ダムにおける自然災害発
生に伴う被害を予測し、避難
経路や避難場所を記した地図
(ハザードマップ)を作成しま
した。農地・道水路等の保全
管理においては、地域の農地・
農道・水路・沈砂池の保全管
理も支援し、さらに老朽化し
た農業水利施設の改修を進め
ております。また来年度は、
農家に対する窓口をワンスト
ップ化(行政手続きを一度に
まとめて行えるように)する
ため、耕地課、経済課、農業
委員会の業務を調整し、連携
の強化を図ってまいります。

農業生産額50億円の現実に
向けては、さとうきび・馬鈴
薯などの面積拡大並びに単収
向上を目指すとともに更なる
農家所得向上に資するため、
新規作物であるパイヤ・生
姜などを活用した付加価値の
高い特産品の開発を目指した
6次産業化も進め、平成28年
度には「農業支援センター(仮
称)」を整備し、翌年度から
は農業人材育成のための研修
を行い、目標額達成に向けて
努力してまいります。

最後に、本町は歴史・文化
の面では「面縄貝塚」が国
指定の史跡となり、また本年
は「戦艦大和を旗艦とする戦
没将士慰霊祭」が記念すべき
50周年の節目を迎えます。さ

らに、伊仙町が先駆的に進め
ている地方創生の取り組みに
ついては、近年全国から視察
団も訪れるなど、様々な分野
で本町が大きな注目を浴びて
おり、その相乗効果として町
内への転入者も増加している
ところであります。

地方創生における具体的な
取り組みについては、企業版
ふるさと納税で「子宝日本一
の伊仙町へ学習支援センタ
ーを！」という事業に対する寄
付を募り、島外からの貴重な
寄付金をもとに、本年1月か
ら小・中・高校生向けの学習
支援の体制を整えます。

また、都市部で見直される
働き方改革の一環として、1
年のうち一定期間を徳之島の
ような自然豊かな環境で業務
を行う「リモートワーク(オ
フィスに通勤しないで働くス
タイル)」を推進し、様々な業
種並びに企業が本町の素晴ら
しい環境のなかで働いて頂け
るよう環境整備を講じてまい
ります。

結びに、「健康・長寿子宝
のまち」、「人情豊かなもてな
しの町」として皆様方のなお
一層のご協力とご理解を賜り
ますとともに、皆様方のご健
勝とご多幸をお祈り申し上げ
新年のご挨拶といたします。

平成29年 元旦

新年のごあいさつ

伊仙町教育委員会

教育長 直 章一郎

御家族おそろいで輝かしい新春をお迎えのことと思ひます。

町民の皆様方には、旧年中、本町の教育の充実発展のために、全面的に御協力、御支援をいただきましたことに対し、心から感謝とお礼を申し上げます。特に、ふれあい給食、体験活動等においては、各学校が町民の皆様方に大変お世話になりました。

伊仙町教育委員会では、今年も、豊富な人材、豊かな自然、多くの文化財を生かした「伊仙町らしい教育」の推進に努めてまいります。

教育には、子どもたちを現在の社会に適應する人間に育てる営みと、現在の社会を革新し、未来の社会を創造する人間に育てる営みの二つがあります。教育の不易と流行をしっかりと見極めながら時代を担う子どもたちを育んでいくことが求められています。

また、子どもたちの可能性は無限であり、飛躍へのエネルギーを秘めています。それを伸ばし、全ての子どもたち

が将来自立し、社会で役割を果たせるように育てていくことが教育の果たす使命です。

次代を担う子どもたちが健やかに成長していけるよう、本町教育の充実に全力を尽くしていきたいと思ひます。児童生徒に「確かな学力」を育むには、学習の基礎・基本の徹底や学ぶ意欲の育成が重要で

現状においては、特に小学校段階から、習熟の遅れがちな子どもたちが、その学年で学習する内容を理解しないまま進級し、次の学年での学習に支障をきたすとともに、そのことが原因で学習全体に対する意欲も低下しているという実態があります。そのため、学力向上策として、家庭学習「60・90」運動を実施し、小学校で60分間、中学校で90分間の家庭学習、30分間テレビを消して家庭で読書や会話を楽しむ運動を展開することにより、学習習慣の定着を図ります。

その他、「漢字・英語検定の受験」や「いせん学びフェ

スタ2016」での「ほーらい夢語り」は、町内の中学校の児童生徒たちが抱く夢のきっかけになったエピソードを交え、今後の「強い決意」を示すなど将来の伊仙町を担う人材として、非常に頼もしい内容で好評でしたので、伊仙町文化協会と連携して推進していきたいと思ひます。

今後とも、変化の激しい時代に郷土伊仙町に誇りと愛着を持ち、心豊かでたくましいく生きぬく子どもを育てるために町民の皆様方と一体となつて、教育の充実に取り組んでいく所存であります。

最後になりますが、本年は酉年であります。昔の中国の言葉に「鶏毛飛上天」というのがあります。この言葉の意味は、「条件が悪くても、努力すれば成し遂げられる」ということだそう

鳥ははばたきます。「酉年」を機会に今年も努力してはばたいて成長していきましょ

終わりに、本年が皆様にとりまして幸せに満ちた、充実した年となりますようにご祈念申し上げ、新年の挨拶いたします。

謹賀新年

総務課長

未来創生課長

税務課長

町民生活課長

保健福祉課長

経済課長

建設課長

耕地課長

きゅらまち観光課

水道課長

会計課長

議会議務局長兼監査書記長

農業委員会事務局長

教育委員会総務課長

社会教育課長

給食センター所長

ほーらい館館長

保健センター所長

中央公民館館長

池田俊博

久保等

當吉郎

伊藤勝徳

澤佐和子

元田健視

仲武美

上木正人

佐藤光利

喜昭也

鶴永宏造

穂浩一

樺山明博

仲島正敏

明勝良

水本齊

中熊俊也

幸多健策

福島照子

他職員一同

祝・国史跡指定！

面縄貝塚



平成28年11月18日(金)、国の文化審議会(会長 馬淵明子氏)は、本町の面縄貝塚を国指定史跡に指定するよう文部科学大臣に答申しました。

史跡とは、日本の歴史の正しい理解のために欠くことができず、かつ学術上価値のあるものとされ、鹿児島県内では28件目、大島地区では6件目の国指定史跡となります。

面縄貝塚は、サンゴ礁に面した海岸砂丘や石灰岩地帯に営まれた貝塚時代前期(縄文時代)の典型的な遺跡で、昭和の初めから奄美・沖縄地域の考古学研究で中心的な役割を果たしてきたことが価値として認められました。

指定の知らせを受けた記者会見で、大久保明町長は「大

変光栄に思う。遺跡の保存と活用を世界自然遺産登録とも足並みを揃えながら推進していきたい」とコメントし、直章一郎教育長は「学校現場と協力し、児童生徒や教職員向けの見学会や出前講座などを開きたい」と抱負を述べました。

なお、今回の国指定に伴い、記者会見の場において伊仙町歴史民俗資料館 新里 亮人

学芸員から「先々の史跡の整備も踏まえ、さらに史跡の本質を調べながら公開していく」と述べ、今後の調査状況や計画を踏まえて資料等を歴史民俗資料館等で展示していきたいと今後の取り組みについてコメントしました。

伊仙町では、「徳之島カムイヤキ陶器窯跡」に次いで2

件目の国指定史跡になり、「健康・長寿と子宝のまち」とあわせて「歴史・文化のまち」としても本町が全国的に認知されることは、地方創生並びに交流人口の拡大に向けて相乗効果が期待されることから今後町を挙げて適切に保護していくことが望まれます。

↓九学会連合会による面縄貝塚発掘調査の様子(昭和31年)



色枠内が指定地



記者の取材に応じる新里学芸員

特集 1

「丸の内プラチナ大学・徳之島ツアー」が開催されました。



高校生向けのキャリア教育を通して生徒の夢に助言するツアー参加者。

三菱総研・エコツツエリア協会主催の「丸の内プラチナ大学」における「ヨソモノ街おこしコース」全8回が終了し、オプショナルツアーとして徳之島を巡るツアーが11月4日から6日にかけて実施されました。主催者も含めて16名が参加され、ホテル業、コンサルタント、ゼネコン、医師、建築家など、多種多様な背景を持つ方々が秋晴れに恵まれた島の自然や食を堪能しました。

ツアー参加者は、これまで2回にわたって伊仙町の特性や現状を講義形式で理解しており、主体的に徳之島伊仙町にどのような形で貢献できるかを考えてビジネスプランを作り上げた上での参加でした。このツアーでは実際に島を巡り、島の人々との対話を通して、さらに徳之島へどのように関わっていくかを、それぞれの立場で考えてくれました。



民間事業者や役場職員との意見交換を行い、島の新たな可能性について探りました。



ツアー参加者に島の素晴らしさを熱心に伝える大久保町長。

これら御縁を活かしながら、「ヨソモノ」のみなさんの力を借りた地域ビジネスの在り方を、さらに具体的に探っていくます。

樟南第二高校、徳之島高校の高校生向けキャリア教育では72名の生徒さんが東京からのビジネススマンであるツアー参加者へ仕事上の経験や、そこへたどり着く道筋を訪ね、民間事業者の方々とは福祉、観光、モノづくり、子育ての分野で更なる島の実情に迫りました。伊仙町役場職員とのセッションでは、ツアー前に作成したそれぞれのビジネスプランをさらに磨き上げて島の可能性を抽出していただき、ツアー参加者、地元参加者双方にとって刺激的な時間を過ごしました。

「徳之島はタヒチにそっくり!」とは、キャビンアテンダントとして30年以上フライトに従事した参加者の声です。また毎回の食事をみなさん興味深くカメラに収めており、島の食材、伝統的な暮らしが島外からのツアー客へ提供しうる素材となることを改めて知る機会ともなりました。

今後はこ



またのお越しをお待ち申し上げております。

きゅらまち観光課による 残したい・守りたい景観掘り起しワークショップ開催報告

伊仙町では、来る世界自然遺産登録へ向けて、自然景観や街並みの景観についての基準を「景観計画」として策定する予定です。そのため、今年度から伊仙町西部地区、中部地区、東部地区において景観ワークショップを開催しております。本報告では、平成28年7月に開催された職員と駐在員向けのワークショップ、8月と9月に行われた西部地区、中部地区のワークショップについてご報告をいたします。平成29年3月にもワークショップを計画しております。開催日については、次号(3月号)にてお知らせいたしますので、多くの皆様のご参加をお待ちしております。

「景観」とは。自然やそこで生活している環境が醸し出す風景や生活の痕跡。



景観アドバイザー 浜本 奈鼓氏



7月14日、中央公民館にて町職員、駐在員、町議会議員向けに景観についてのお話をいただきました。



8月11日、西部地区住民の方々に、集落から見える景色や好きな集落スポットを教えてくださいました。



犬田布集落 ウエンコー



東伊仙西 フクギ並木



中伊仙 伊仙闘牛場



9月22日、中央公民館において、中部地区住民の方々に、自然が美しいスポットや、伊仙でここだけの場所を教えてくださいました。

(お問い合わせ) きゅらまち観光課 TEL: 0997-86-3111

◎ボランティア活動の報告 (きゅらまち観光課)

平成28年11月17日(木)～18日(金)の2日間、伊仙幼稚園と犬田布幼稚園で阿権海岸を、面縄幼稚園が面縄海岸において、園児並びに保護者を含めてそれぞれ約50名の参加のもと、ボランティア清掃活動を行って頂きました。

町民の皆様でゴミのポイ捨てはもちろん、ゴミだしのルール(指定袋に入れて指定日にごみを出す)もしっかり守って、「世界に誇れるきれいな町づくり」を実現しましょう!



いせん学び フェスタ 2016

2年に1回、町民文化祭と合同で行われる「いせん学びフェスタ」。今年も文化協会により舞台発表や様々な展示、子どもたちに人気のバルーンアート体験コーナー、今年初開催の小・中学生によるほ～らい夢語り、事例発表など様々なプログラムがあり、盛り上がりました。その様子を写真で紹介します。



特集 2

わが町が誇る国指定

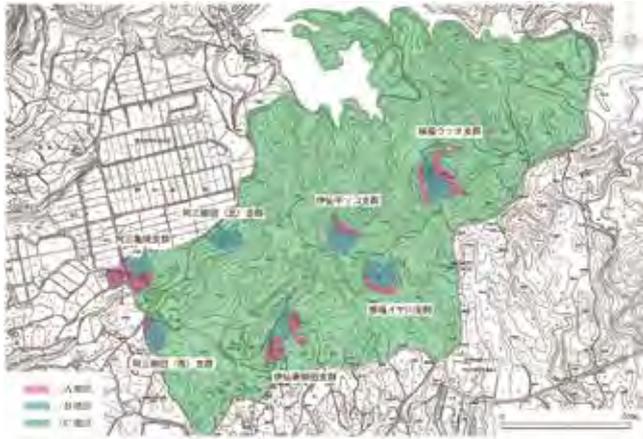
第2弾

「カムイヤキ陶器窯跡の秘密」と発掘調査の全容

○カムイヤキの特徴

窯跡の調査によってカムイヤキは1000年前〜700年前に焼かれ、トカラ列島、奄美・沖縄諸島の各地に運ばれ当時の生活用品として利用されたことがわかりました。

器の種類は、壺、甕、鉢、鉢、碗、水差しがあり、そのほとんどは食事のための道具です。また、専門家の研究では窯の形は同じ時代の朝鮮半島や九州のものと同様に似ており、器の形は中国や朝鮮半島のものを参考にしていたことがわかりました。このことは、カムイヤキが東アジアの人たちの海を越えた交流によって出来上がった焼き物であったことを表しています。



カムイヤキ窯跡の分布図



徳之島産カムイヤキ

○最近の調査でわかったこと

最近では遺跡を見つけた技術が進歩し、探査機を使って土のなかの状況を探ることができるようになりました。これを電気探査や磁気探査と呼ばれる方法で、土を掘り起こさずに遺跡のある・なしを見極めることができます。また、炭になつた樹木の種類を調べ、燃料を特定する方法や土の成分を調べて作られた場所を推定することもできるようになりました。

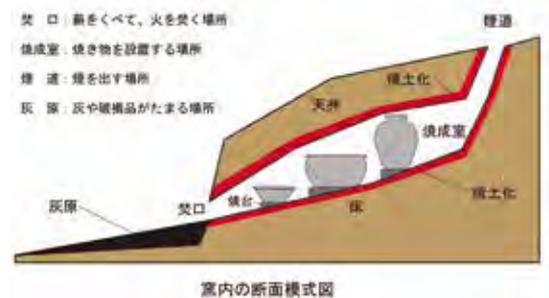
このような取り組みによって、窯跡は阿三、伊仙、検福一帯の森のなかに200基近く残されていて、材料と燃料としてこの森の中にある赤い粘土とスタジイ(島口でシイギ)が利用されて焼かれていたことが明らかになりました。

た。

長年の調査によって、カムイヤキは当時の技術や世の中の様子を知るうえで、大変貴重で日本の歴史を知るうえで、欠かすことのできない遺跡として、2007年2月に国の史跡に指定されました。(指定名称:徳之島カムイヤキ陶器窯跡)

○カムイヤキを次の世代へ伝えるために

窯跡が見つかり、奄美・沖縄の各地に運ばれたカムイヤキの故郷は見つかりましたが、それを焼いていた人々の暮らしはまだ見つかっていません。伊仙町教育委員会は、徳之島カムイヤキ陶器窯跡の大切さを次の世代に正しく伝えてい



窯内の断面模式図

くため、これからも関係する遺跡の調査を続け、カムイヤキからわかる歴史を明らかにしていく予定です。また遺跡が眠る森は近々国立公園に指定されますが、森と人の関わりを伝えるため遺跡の展示施設や自然探索道の整備を計画しています。

現在、歴史民俗資料館では、割れたカムイヤキをつなぎ合わせる作業を進めています。窯跡からは、たくさん焼けた物が見つかりますが、そのほとんどは焼いている途中で破損した失敗作です。これでは全体の形はなかなか分かりませんので、破片ひとつひとつに出土した場所を記録し、形や色を参考にしながら壊れる前の姿に戻す作業を昨年度から続けていますが、修復し終わった資料は展示品及び教材として役立てます。

作業のようすは、伊仙町歴史民俗資料館で見学することができます。また、体験作業もできますので、遠足や社会科見学の際は、お気軽にご連絡下さいますようお願いいたします。

(お問い合わせ先)
伊仙町歴史民俗資料館

(担当:新里・榎本)
TEL:0997(86)4183
TEL:0997(86)4184
FAX:0997(86)4184

地産地消・地域産業の活気に満ち溢れた 伊仙町産業・食の文化祭

平成28年11月23日(水・祝日)に、毎年恒例の「伊仙町産業・食の文化祭」が開催されました。

今年で40回目を迎える同イベントは、徳之島交流ひろば ほーらい館の施設を中心に、式典(各種表彰伝達・意見発表・講演・抽選会)や屋外イベント(赤ちゃんハイハイ・綱引き・三輪車レース等)など参加型の催し物が目白押しとなっており、会場は町内外からのお客様や関西伊仙町会(会長・中野 壽郎氏)御一行の帰省も叶うなど大盛況でした。さらに、今回で結成26周年を迎えた「黒潮太鼓」が同イベントとの共同企画「太鼓祭り」と題して、屋外ステージとほーらい館ホールの2部構成で力強い太鼓の音を響き渡らせ、節目の40回に華を添えて頂きました。

来年も同イベントを開催する予定ですが、ぜひ来年も多くの皆様のご来場とご参加をお待ち申し上げます。(※イベントのようすは、公式HP及びfacebookでもご覧になれます。)

各部門で表彰を受けられた個人・団体の皆様おめでとうございます。
(優秀農家・商工会永年勤続者・夢ある農業絵画入賞者・80歳以上で20本以上自分の歯を保たれている方々)



高校生による希望に満ち溢れた意見発表や、「日本食の秘めたる健康パワー」と題して、和食のバランスの良さを改めて知ることができた講演会。最後には、豪華賞品を懸けての大抽選会を開催!



屋外では、多くの地場産食材をふんだんに使った飲食物や地魚の販売、また赤ちゃんからご高齢者までが楽しめるプログラム満載で、終日笑顔に満ち溢れたイベントとなりました。



快晴の秋空のもと 好タイムが続出した 第38回 伊仙町駅伝競走大会

恒例の伊仙町駅伝競走大会が、11月13日(日)喜念浜海浜公園～糸木名小学校グラウンドまでの全8区間(16.6km)を9チームにて行われました。

当日は、秋空特有の天気でも風もなく、澄み切った空気の中で午前10時のピストルの合図とともに、喜念浜海浜公園入口から全8校区の代表が、ゴールまでタスキを繋ぐために勢いよくスタートし、沿道の声援を一身に受けながら、熱い戦いを繰り広げました。

結果は下記の通りです。

総合順位	第1位	第2位	第3位
	伊仙校区	面縄校区	犬田布A校区
区間賞			
第1区	松村尚都	6分34秒	
第2区	中野はるか	5分10秒	区間新記録
第3区	平山龍聖	7分5秒	
第4区	作尚香	9分54秒	区間新記録
第5区	清水優心	12分45秒	
第6区	有山世莉奈	5分18秒	
	為彩香	//	
第7区	宇都邦和	8分46秒	
第8区	岡元結愛	6分00秒	区間新記録



総合優勝した伊仙校区



出場選手全員で記念写真

平成28年度「いせん寺子屋」始めます

伊仙町では、小中高校生の皆さんが、未来に夢を持ち、そして徳之島に誇りを持ち、徳之島や日本のどこかで、または世界で活躍してほしいと願っています。そのために、皆さんが島で暮らす間に、徳之島がどんなにすばらしく、特別な場所か、たくさん知ってほしいと思っています。

そこで、3学期より、「いせん寺子屋」をはじめ、島の伝統や暮らし、自然や食などについて、学ぶことができる場所を設けます。「いせん寺子屋」では、色々なお仕事に関するお話や、宿題のお手伝い、授業でわからないところを講師の先生に聞く時間もあります。受験を控えているみなさんには、東大生からの講義をインターネットで受けることもできます。

子供たちが将来どんな人になりたいか、それを一緒に探し、そのために必要な勉強や知識を、学べる場所になります。

勉強の指導ができる方も募集しています。興味のある方は、お気軽にお問い合わせください。

講義日：第2土曜日を除く、毎週土曜日 午前8:30～午後12:00

<開所式：平成29年1月7日(土)>

場 所：伊仙町教育委員会 大会議室

- 内 容：①徳之島の伝統、文化、自然を学ぶ「徳之島学」
 ②島内外のプロフェッショナルを招聘したキャリア教育
 ③有資格者とそれに準ずる講師による補習
 ④東大ネットワークアカデミーによる受験生指導

対象者：(小学4年生・5年生・6年生)(中学1年生・2年生・3年生)(高校1年生・2年生・3年生)
 (お問い合わせ)伊仙町未来創生課(86・3111)伊仙町社会教育課(86・4653)



悲願の「全国大会出場」達成！！

伊仙合同野球チーム



去る平成28年11月19日～20日の2日間、佐賀県鳥栖市民球場・みやき町中原公園野球場を舞台に行われた「文部科学大臣杯・第8回全日本少年春季軟式野球大会九州大会」が行われ、鹿児島県代表として出場した「伊仙合同<面縄中・伊仙中・犬田布中の合同で構成>」が激戦を制し、見事全国大会出場の切符を勝ち取りました。

今回全国大会出場を決めた伊仙合同の田中大陸主将（面縄中）からは「町民の皆さんや各方面からの応援とご支援で全国大会出場を決めることができました。全国大会では、一戦必勝で頑張りたい」と力強い決意が述べられました。

なお、全国大会にあたる「文部科学大臣杯・第8回全日本少年春季軟式野球大会」は、来年3月に静岡県で開催され、高校野球の「春のセンバツ」同様、新人戦として球児の憧れの大会となるよう文部科学省の後援を受け新設された大会となっており、徳之島においては中・高あわせて史上初の出場となります。改めて町民の皆様の絶大なるご支援とご声援をよろしくお願いいたします。

子宝日本一のまちの 平成28年度伊仙町へき地保育所合同運動会

平成28年10月29日（土）伊仙町総合体育館において、「平成28年度伊仙町へき地保育所合同運動会」が開催されました。

当日は園児や保護者など約200名が参加し、予定されていた全11プログラムを参加者全員が大いに楽しんでいました。

各プログラムでは、競技の途中に泣き出す子供たちもいましたが、最後まで家族の応援を背にして、一生懸命頑張っていたのがすごく印象的でした。

これからも、わたしたちの大事な「宝」である子供たちの健やかなる成長とご活躍を地域ぐるみで温かく見守っていきたいものです。「こどもたち、みんなよくがんばりました！これからもおともだちとなかよくあそんでくださいね！」



追悼の誠を捧げるため・・・ 平成28年度「伊仙町戦没者合同追悼式」行われる。

枯葉が舞い、晴れ渡る秋空のもと「平成28年度伊仙町戦没者合同追悼式」が義名山神社（慰霊碑前）において、しめやかに執り行われました。

当日は、町内に在住している遺族及び団体「遺族会（会長 嶺津太郎 氏）」など、約80名が参列し、日清・日露戦争並びに先の大戦において亡くなられた御霊に対し、哀悼の誠を捧げました。

合同追悼式では、義名山神社の神主により神事が進められ、慰霊の詞では、大久保 明 町長（写真上）より恒久平和と亡くなられた皆様のふるさとである伊仙町が益々発展を遂げるために、尽力していきたいと決意を述べました。

また、遺族会の嶺津太郎 会長（写真下）からは、近年の目まぐるしい社会情勢や世界各地で発生している軍事問題などを鑑みて、悲しい歴史を二度と繰り返さないよう、これからも世界平和のために、残された家族がそれぞれの立場で、戦争の悲惨さや大切な家族を失うことの切なさを伝えていくと、英霊の御霊に対し慰霊の詞を述べられました。



笑顔満開！活気に満ちた 「第17回社会福祉大会伊仙町ふれあい福祉スポーツ大会」

平成28年11月22日（火）、伊仙町総合体育館において「第17回社会福祉大会伊仙町ふれあいスポーツ大会（主催：社会福祉法人伊仙町社会福祉協議会）」が開催されました。

同大会は、毎年町内外の養護老人ホームや養護施設の入所者及び利用者が普段支援業務を行っている職員や各種協議会の皆さんとともに参加する大会となっており、すべてのプログラムにおいて元気ハツラツで終始笑顔の絶えない日となりました。

また、当日は競技開始冒頭に、永年社会福祉活動に貢献された個人・団体に対しての感謝状が贈呈され、「生涯活躍のまち」としてご尽力された皆様へ、大久保 明 伊仙町長から労いの言葉と感謝の意が示されました。

さらに、開会式終了後にはサプライズゲストとして、先日全国大会出場を決めた「伊仙合同野球チーム（面縄中・伊仙中・犬田布中の合同で構成）」が登場し、今話題の選手たちの登場に会場から大きな声援と喜びの声が挙がるなど、大会名にちなんだあらゆる「ふれあい」を実現することができました。

なお、この大会は「赤い羽根共同募金の配分金で運営」されており、今後とも町民の皆様方において赤い羽根共同募金へのご協力をよろしくお願いいたします。



伊仙町から情報発信に伴うお知らせ (町民各位)

情報発信における方向性

平成28年10月から町公式ホームページを中心とした情報発信機能(広報いせん含む)がより充実したかたちとなり、新たにSNS(facebook)や動画サイト(Youtube)などを活用して、現在町内外に本町の魅力を最大限に発信するべく業務を行っています。そのなかで、他の自治体と差別化を図る意味で、本町の大きな魅力である「地域力」や「健康・長寿と子宝日本一」という言葉を“キーワード”にして情報発信を行っていきます。そこには、必ず「町民の皆様が常に主役である」ことが大前提であり、町民の皆様のご活力ある情報を発信していくことは、現在本町が推進している各種事業に必ず寄与できるものと考えます。具体的な事例を挙げますと、人口減少問題が喫緊の課題としてありますが、都市部を中心とした移住希望者に向けて、町民の皆様のご表情や生の意見を伝えることで、一歩踏み出すきっかけになるものと考えます。

(方向性を踏まえたお願い)

上記の方向性を踏まえて、今後町の主催する各種行事並びにイベントにおいては、町職員が腕章を着用のうえ写真及び動画撮影を行って参ります。

さらに町で撮影した写真及び動画の権利については、すべて町に帰属するものであります。また、大衆で参加するイベント及び行事を除き、個人を対象に取材する場合や町民生活課窓口において提出する婚姻届・出生届など個人情報を提供頂く場合、すべて「伊仙町個人情報保護条例」に基づいて取り扱うものとし、広報誌等に掲載する旨の承諾書を頂きます。

(※承諾書は、取材時に頂く場合と窓口で頂く場合があります。また、ホームページ等において一部町民の方より肖像及び個人情報について削除依頼がご本人からあった場合は、速やかに削除します。)

これらの情報発信の方向性及び関係法令を踏まえて、今後本町を積極的にPRいたしますので、町民の皆様のご理解とご協力を何卒よろしくお願いいたします。

平成29年1月 伊仙町長



総務課からのお知らせ

陸上自衛隊 第8師団 島しょ演奏会 in 伊仙町

未来へ ～地域とともに～

入場
無料

平成29年1月28日(土) 午後6時～午後8時
伊仙町総合体育館

自衛隊車輛の
体験試乗もできます!
午後3時～午後5時まで

<お問い合わせ>

鹿児島地方協力本部徳之島駐在事務所 TEL:0997-83-3080

陸上自衛隊北熊本駐屯地 TEL:096-343-3141 内線(3443・3445・3446)

町民生活課からのお知らせ

平成29年度保育所入所申込みについて

平成29年4月1日以降の認可保育所・へき地保育所の入所申込書を下記のとおり受付いたします。

申込書は、役場町民生活課にあります。なお、現在入所中の方については、保育所を通じて「入所申込書」を配布します。



<<受付期間>>平成29年1月4日(水)～平成29年1月31日(火)

伊仙町内の認可保育所		
幸徳保育園	定員60名	0歳から保育時間は午前7時30分～午後6時まで
わかば保育園	定員60名	0歳から保育時間は午前7時30分～午後6時まで
いせん保育園	定員60名	0歳から保育時間は午前7時30分～午後6時まで
伊仙町内のへき地保育所		
1歳7か月から	保育時間は、午前7時45分～午後5時15分まで	保護者負担金は園児1名 4,000円/月

※保育所(園)へ入所できる児童は、両親いずれも家庭内外問わず働いている場合、または次の事項にある場合です。(親のいない家庭・母親の出産・病人の看護等・家庭の災害・就学)

◎認可保育所は、所得状況により保育所利用料を算定します。

◎**保育所入所の希望が多い場合は、判定会で決定します。希望の保育所に入所できない場合がありますので、予めご了承ください。**

(お問い合わせ) 伊仙町役場町民生活課 児童福祉係
TEL: 0997-86-3111 (内線55)

新成人のみなさんへ<20歳になったら国民年金>

国民年金は、「現役世代みんなで支えよう」という考えで作られた仕組みです。具体的には、若い時に公的年金に加入し保険料を納め続けることで、年をとった時や病気やケガなどで障害が残った時、家族の働き手が亡くなった時に、年金を受け取ることができる制度です。



国民年金のポイント

◎**将来の大きな支えになります。**

国民年金は20歳から60歳までの人が加入し、保険料を納める制度です。国が責任を持って運営するため、安定していますし、年金の納付は生涯にわたって保障されます。

◎**老後の為だけのものではありません。**

国民年金には、年をとった時の老齢年金の他、障害年金や遺族年金もあります。障害年金には、病気や事故で障害が残った時に受け取れます。また、遺族年金には加入者が死亡した場合、その加入者によって生計を維持されていた遺族「子のある配偶者」や「子」が受け取れます。

国民年金保険料は口座振替がお得です。

国民年金保険料の納付には、口座振替がご利用できます。口座振替は、現金納付よりも割引率が大い6か月前納・1年前納・2年前納や、月々50円割引となる早割制度が用意されています。

口座振替をご希望の方は、納付書又は年金手帳、通帳、金融機関届出印を持参のうえ、ご希望の金融機関または役場年金係までお申し出ください。

「学生納付特例制度」

学生の方は一般的に所得が少ないため、ご本人の所得が一定以下の場合、国民年金保険料の納付が猶予される制度です。対象となる学生は、学校教育法に規定する大学(大学院)、短期大学、高等学校、高等専門学校、専修学校及び各種学校(修業年限1年以上である過程)、一部の海外大学の日本分校に在学する方です。

(お問い合わせ)

伊仙町役場町民生活課 国民年金係 TEL: 0997-86-3111 (内線52)
日本年金機構 奄美大島年金事務所 TEL: 0997-52-4341

建設課からのお知らせ

「喜念団地」の入居希望者を下記のとおり募集いたします。

募集団地名	喜念団地<住所：伊仙町喜念1527番地>
事業名	平成28年度社会資本整備総合交付金事業（公営住宅）
住宅概要	木造平屋建 2棟6戸（3LDK 6戸 ※1戸あたりの床面積 約76㎡）
募集戸数	6戸
家賃	28,000円～88,500円/月（所得に応じて変動します。） 別途、共益費 約3,500円/月、敷金 家賃の3か月分
募集期間	平成29年1月10日～平成29年2月20日まで
申込方法	伊仙町役場建設課住宅係に「入居申込」の申請をして下さい。 ※「入居申込」の申請書は、建設課住宅係または、伊仙町ホームページ（申請書ダウンロード）から入手して下さい。また、既存の住宅の申し込みをされている方も新たに申請の手続きが必要です。
入居資格	一般世帯（単身者は除く）で町税金等の滞納がない方。 ※町営住宅間の転居は原則禁止ですが、選考委員会の認める入居者はその限りではない。
選考方法	審査会にて収入基準等の入居資格審査のうえ、抽選により決定します。 ※所得により入居できない場合があります。 ※入居者選考委員会で優先入居者が生じた場合等、抽選戸数が増える場合があります。 ※抽選対象者には、事前にご連絡いたします。
抽選期間	平成29年3月中旬（予定）
入居時期	平成29年3月30日（予定）

<お問い合わせ先>

伊仙町役場建設課（住宅係） TEL0997-86-3111（内線44）

※詳細な募集事項については、1月中旬よりホームページ掲載及び建設課にてお知らせいたしますので、お問い合わせください。

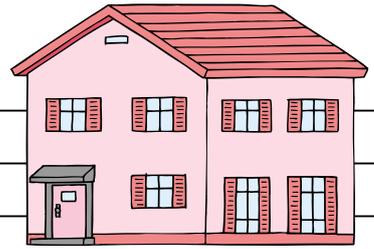
※下の図は完成イメージ図です。完成した物件はイメージ図と多少違う可能性もありますので、予めご了承ください。



建設課からのお知らせ<阿三団地・阿権団地入居希望者募集>

「阿三団地」の入居希望者を下記のとおり募集いたします。

募集团地名	阿三団地（仮称）＜住所：伊仙町阿三1379番地1＞
事業名	伊仙町定住促進住宅事業
住宅概要	鉄筋コンクリート建，2棟8戸 ※駐車場あり (2LDK1棟4戸／1戸あたりの床面積 約65㎡) (3LDK1棟4戸／1戸あたりの床面積 約83㎡)
募集戸数	2棟8戸
家賃	(2LDK) 30,000円／月 (3LDK) 35,000円／月 別途，共益費 約3,500円／月，敷金 家賃の3か月分
募集期間	平成29年2月1日～平成29年3月10日まで
抽選期間	平成29年3月中旬（予定）
入居時期	平成29年5月30日（予定）



※阿三団地は，平成29年5月30日入居開始予定となっておりますが，平成29年3月中旬に入居が確定した場合，入居者の就学生につきましては，「校区外通学」を認めます。

「阿権団地」の入居希望者を下記のとおり募集いたします。

募集团地名	阿権団地（仮称）＜住所：伊仙町阿権1716番地1，1717番地1＞
事業名	伊仙町定住促進住宅事業
住宅概要	木造平屋建，4棟（3LDK4棟／1戸あたりの床面積 約79㎡）※駐車場あり
募集戸数	4棟
家賃	35,000円／月 別途，共益費 約3,500円／月，敷金 家賃の3か月分
募集期間	平成29年1月10日～平成29年2月20日まで
抽選期間	平成29年3月中旬（予定）
入居時期	平成29年3月30日（予定）



<阿三団地・阿権団地の申込方法>

・伊仙町役場建設課住宅係に「入居申込」の申請をして下さい。

※「入居申込」の申請書は，建設課住宅係または，伊仙町ホームページ（申請書ダウンロード）から入手して下さい。また，既存の住宅の申し込みをされている方も新たに申請の手続きが必要です。

<免除制度>

・高校生までの就学生1人につき，5,000円免除，上限20,000円（但し，勤務先より家賃補助のある入居者は対象外とする）。

<入居資格>

・未就学児・子供のいる世帯（単身者は除く）で町税金等の滞納がない方。

※町営住宅間の転居は原則禁止ですが，選考委員会の認める入居者はその限りではない。

<選考方法>

・審査会にて収入基準等の入居資格審査のうえ，抽選により決定します。

※所得により入居できない場合があります。

※入居者選考委員会で優先入居者が生じた場合等，抽選戸数に変更になる場合があります。

※抽選対象者には，事前にご連絡いたします。

《お問い合わせ先》

伊仙町役場建設課（住宅係） TEL0997-86-3111（内線44）

※詳細な募集事項については，1月中旬よりホームページ掲載及び建設課にてお知らせいたしますので，お問い合わせください。

建設課からのお知らせ<入札参加資格申請について>

「平成 29・30 年度入札参加資格申請」を下記のとおり受け付けます。

※町内業者においては、「平成 29 年度入札参加資格申請」となります。

建設工事について	
1	建設工事入札参加資格審査申請書（県の様式記入要項を参照の事）・表紙のみホームページ掲載分を使用の事。
2	建設業許可通知書の写し
3	建設業許可申請書の写し
4	経営規模等評価・結果通知書の写し
5	直前 2 年（H27 年・28 年）の各事業年度における工事経歴書
6	町税等納税証明書及び各使用料納入証明書（町内業者のみ）
7	消費税及び地方消費税納税・法人税証明書の写し（直近のもの）
8	労働保険料（労災保険）納入証明書の写し（直近のもの）
9	退職金共済組合加入契約証明書の写し（直近の支払証のコピーも）
10	雇用保険料納入証明書の写し（直近のもの）
11	使用印鑑届
12	専任技術者証明書の写し（直近のもの）
13	従業員等の技術資格者一覧表（資格免状・講習修了証等のコピーを添付）
14	//の保険証の写し（全員分）
15	建設業に関連した表彰の写し（H25.4/1～H28.3/31 までの分）
16	建設業許可申請書に明記の本社及び委任先の所在地の郵便番号、住所、電話番号、FAX 番号、メールアドレス
17	その他（ボランティア証明書の写し等）※ボランティア状況写真を添付すること。
18	委任状（支店・営業所等に委任する場合）
物品について（各書式は、下記の事柄が分かるように任意様式で提出）	
1	入札参加資格審査申請書
2	営業概要書
3	納税証明書（消費税・法人税等）
4	町税等納税証明書及び各使用料納入証明書（町内業者のみ）
5	委任状（支店・営業所等に委任する場合）

●測量、建設コンサルタント、地質調査等については、国土交通省の統一様式で提出してください。
提出部数 各 1 部 受付期間 平成 29 年 1 月 5 日～平成 29 年 2 月 28 日迄

※注意事項

- 書類不備の場合は受付できません。早めに申請し、確認を受けてください。なお新規業者を除き、上記受付期間を過ぎると受付できません。
- 提出書類は、提出書類の一覧表を最上段にし、上記の各様式番号順にインデックスを付け、A4 判のファイルに綴じ、表紙及び背表紙に「入札参加資格審査申請書」及び「会社名」を記入してください。また、複数の業種を申請する場合は、業種ごとに提出してください。
- 申請年度内に許可（建設業許可）の期限が切れる場合は、すみやかに新許可書を手入し提出してください。
- 町外業者については、2 年毎、町内業者については毎年の更新をお願いします。

《お問い合わせ先》伊仙町役場建設課 TEL 0997-86-3111

社会教育課からのお知らせ<地域スポーツ活動推進事業について>

レスリングマット購入しました。

今回、地域スポーツ活動推進事業（大型スポーツ用品設置事業）にてレスリングマットを購入しました。昨年の 1 月に申請し、11 月 9 日に設置することができました。

以前は、体育用マットを使用し練習を積んでいましたが、本物のレスリングマットで練習できることに喜びを感じ、今まで以上にレスリングに対する気持ちが強まったと思います。

未来を担う子供たちが今後成長していくという姿が楽しみです。

購入金額 2,720,000 円（うち助成金 2,620,000 円）



税務課からのお知らせ

平成29年（平成28年分）所得申告及び確定申告について

平成29年（平成28年分）所得申告及び確定申告が2月初旬より行われます。
全住民（就学者を除く）が対象となりますので、期間内に必ず申告されるようお知らせいたします。
※申告にあたっては、下記の書類をご準備のうえご持参下さい。

1. 収入のわかる書類

- ①農産物等の出荷証明書（さとうきび・馬鈴薯・かぼちゃ・マンゴー・花卉・肉用牛・その他）
※出荷証明書は農協や出荷先（百菜・小売店・仲買人）等が発行します。
※青年就農給付金等を受けている方は、その収入も申告をお願いします。

2. 経費のわかる書類

- ①農産物等の生産に要した費用（人件費・肥料代・種苗費・ハーベスター料・小作料・賃借料・客土費・分担金・キビ共済・農具費・農薬費・修繕費・燃料代・大型使用料・生産資材代・飼料代・生命保険料・国民年金保険料・医療費・住宅ローン・公的年金の源泉徴収票＜年金受給者＞）
②減価償却費（＜生産に要する自家用機器＞軽トラック＜4年以内＞・耕耘機・管理機＜5年以内＞・トラクター・ハーベスター＜8年以内＞の購入年月日の記載されたもの。
※経費は領収書または支出の確認できるものを必ずご持参ください。
※口頭での支出（経費）報告は受け付けていませんのでご注意ください。＜他町も同様に受け付けていません。＞

3. 農産物の生産や一定の勤め先のない方の申告

※人夫賃金や内職等の賃金明細の確認できるものをご持参ください。

4. その他

※営業・不動産・利子・配当等の所得がある場合も申告が必要です。

5. 印鑑

※申告は平成28年1月～12月までにに関するものです。



＜申告に関するお問い合わせ＞

伊仙町役場税務課 TEL 0997-86-3111（代表）

徳之島愛ランド広域連合（クリーンセンター）からのお知らせ

家庭ごみ減量のすすめ

- 洗剤などは、詰め替え用を率先して買しましょう。
- 買い物をするときは、必要なものを必要な分だけ買しましょう。
- 買い物袋（マイバッグ）を持参し、レジ袋の使用を減らしましょう。
- 使えるものは、修理して大事に使しましょう。
- 食べ物は、残さず食べましょう。



家庭で日頃からできる取り組みを行うことで、家庭ごみの減量化につながります。家庭ごみを減らすことで、家計の節約にもつながります。ごみ減量の意識を持って、使い捨て型から循環型のライフスタイルを実践しましょう。

鹿児島県からのお知らせ<県庁税務課>

県税の口座振替について

平成29年4月以降の自動車税と個人事業税は、ゆうちょ銀行の通常貯金口座からも納付できるようになります。ご希望の方は、最寄りのゆうちょ銀行・郵便局の窓口に備え付けの「自動払込利用申込書」で申し込んでください。なお、申込書の記入例などは県のホームページ、もしくは各地域進行局・支庁県税課に備え付けてあるチラシをご確認ください。

《お問い合わせ先》 県庁税務課 TEL：099-286-2196

学生募集のお知らせ<放送大学鹿児島学習センター>

放送大学4月入学生募集

放送大学は、テレビ等の放送やインターネットで授業を行う通信制の大学です。働きながら学んで大学を卒業したい、学びを楽しみたいなど、様々な目的で幅広い世代の方が学んでいます。

ただいま、平成29年4月入学生を募集しています。詳しい資料を送付いたしますので、お気軽にお問い合わせください。

■募集学生の種類

教養学部	大学院
科目履修生（6か月在学し、希望する科目を履修）	修士科目生（6か月在学し、希望する科目を履修）
選科履修生（1年間在学し、希望する科目を履修）	修士選科生（1年間在学し、希望する科目を履修）
全科履修生（4年以上在学し、卒業を目指す）	

■出願期間

平成28年12月1日～平成29年2月28日、3月1日～3月20日（インターネットでの出願可）

■資料請求（無料）

《お問い合わせ先》

〒892-8790 鹿児島市山下町14-50（かごしま県民交流センター西棟4階）
放送大学鹿児島学習センター TEL：099-239-3811
放送大学ホームページ <http://www.ouj.ac.jp>

学生募集のお知らせ<鹿児島県立鹿屋高等技術専門校>

鹿児島県立鹿屋高等技術専門校（平成29年度入校生募集<C日程>）

当校では、平成29年度の一般入校生を募集しています。

募集科名	電気設備科 定員20名 訓練期間2年
応募資格	高等学校卒業生（卒業見込み者を含む）若しくは同等以上の学力を有すると認められる者
願書受付	平成29年1月13日（金）まで
試験日	平成29年1月27日（金）
試験科目	筆記試験（総合問題）及び面接
試験会場	鹿児島県立鹿屋高等技術専門校
合格発表	平成29年2月6日（月）

※寄宿舎を完備しており、遠隔地からの入校も可能です。離転職者の方は、最寄りの公共職業安定所にご相談下さい。訓練手当等を受給できる場合があります。

《お問い合わせ先》 鹿児島県立鹿屋高等技術専門校
（鹿児島県鹿屋市川西町3482） TEL：0995-44-8674

国税局からのお知らせ

「にせ税理士」にご注意を！

税理士でない人が、税務処理、税務書類の作成及び税務相談の税理士業務を行うこと（いわゆる「にせ税理士」行為）は、税理士法で固く禁じられています。

所得税及び復興特別所得税並びに消費税及び地方消費税の確定申告書や決算書などの税務書類の作成や税務相談を依頼する場合は、税理士であること（「税理士証票」を携行し、「税理士会員章（バッジ）」を着けています。）

をご確認のうえ、ご相談下さい。

「にせ税理士」へ相談することは、あなた自身に不測の損害を与えるおそれがありますので、十分にご注意ください。詳しいことは、最寄りの税務署にお尋ねください。

平成28年分の確定申告書等には個人番号の記載が必要です。

社会保障・税番号制度（マイナンバー制度）の導入に伴い、平成28年分の確定申告書等にはマイナンバー（個人番号）の記載が必要となりました。

なお、マイナンバー（個人番号）を記載した確定申告書等を税務署へ提出する際には、申告されるご本人の本人確認書類の提示又は写しの添付が必要です。

<<本人確認を行うときに使用する書類の例>>

例1：マイナンバーカード（個人番号カード）の表面及び裏面〔番号確認及び身元確認書類〕

例2：通知カード〔番号確認書類〕+運転免許証又は公的医療保険の被保険者証〔身元確認書類〕など。

詳しくは、国税庁ホームページ（www.nta.go.jp 又は **国税庁** **検索**）をご覧ください。最寄りの税務署にお尋ねください。

自宅からネットが便利 申告・納税 e-Tax

「国税電子申告・納税システム（e-Tax）」では、自宅やオフィス、税理士事務所などからインターネットを利用して、国税に関する各種手続（①所得税（及び復興特別所得税）、法人税・地方法人税（及び復興特別法人税）、贈与税、消費税及び地方消費税、酒税、印紙税の申告 ②全ての国税の納税 ③納税証明書の交付請求書及び法定調書の提出などの申請・届出等）ができます。

なお、電子署名を必要としない一部の手続等（納税、メッセージボックスの確認、利用者情報の登録・確認・変更等）については、スマートフォン等でもご利用になれます。

詳しくは、e-Tax ホームページ（www.e-Tax.nta.go.jp 又は **e-Tax** **検索**）をご覧ください。

脱税は社会公共の敵

所得税や法人税などは、納税者が税法に従って正しい所得と税額を計算し、税務署に申告して納税するという申告納税制度を採っており、多くの納税者の方々は適正な申告と納税を行っています。

しかし、申告しなければならないのに申告しなかったり、誤った申告をしたり、あるいは故意に過少な申告をする納税者も見受けられます。そのため、国税局や税務署では、的確な税務調査を行い、申告に誤りや不正がある場合には、正しい申告に改めてもらうなど、適正・公平な課税の実現に努めています。

また、税務調査とは別に、特に大口・悪質な脱税をしている疑いのある者に対し、単に免れた本税や重加算税等を納めさせるだけでなく、検察官への告発を通じて、懲役や罰金といった刑罰を科すことを目的とした査察調査を行っています。税金を不当に免れることは、正しい申告と納税を行っている善良な納税者を裏切ることとなります。脱税は犯罪であり、社会公共の敵というべきものです。正しい申告と納税をしましょう。

（上記お知らせに関するお問い合わせ）

鹿児島県大島税務署（奄美市名瀬長浜町1番1号）

TEL：0997-52-4321



伊仙町商工会の窓



**和風・洋風・琉球庭園など
各種折中庭園 etc...**
設計・施工いたします。



植物卸販売・ガーデニング etc...
Nプランテーション



庭・花の相談 お気軽にご連絡ください。

よいはな さくいろ
連絡先 **090-4587-3916**

和み, 安らぎ, 創造 島モダンの追求 **(有)中川植物園**

Mobil モービル石油特約店

真心でサービスする, あなたの給油所!

重田石油

伊仙町面縄 2222-2
TEL : 0997-86-3588
FAX : 0997-86-2048

ガソリンを満タン給油された
車への特典

「洗車無料サービス」

ガソリン 10L 単位でスタンプを押します!
さらに会員入会でお得なポイント「2倍」
サービスがあります。
300L に達した時には, ガソリン 10L
分の現金をキャッシュバック。

※伊仙町商工会の窓では, 商工会加盟店の広告を掲載しております。掲載希望の商店は, 伊仙町商工会(0997-86-2390)までお問合せ下さい。



子宝日本一の町 わが町のアイドル



しょうせい
常笑生くん
(2か月)

これからいろいろな経験をして、
その中で、たくさん笑って
元気よく育って行ってね!



はるかぜ
清水春風くん
(2歳)

ウルトラマンオーブになりたい春風くん!これからも元
気いっぱい大きくな〜ね!

わが町のアイドル募集!

本紙では「わが町のアイドル」と題して、わが家の
かわいい子どもの写真を掲載します。

毎月10日までに住所・氏名(子どもと保護者)・電
話番号・簡単なPR文を添えて、写真を未来創生課広
報係までお持ち下さい。

お問い合わせ先 伊仙町役場 未来創生課
TEL 86-3111 (内27)

人口の動き (28年11月30日現在) ※総人口は、外国人含む。	総人口=6,926	出生=2
	男 =3,492	死亡=17
	女 =3,434	転入=12
	世帯=3,530	転出=17

戸籍の窓

お誕生おめでとう (敬称略)

出生児	保護者	集落名
義岡 秋音	友和	下検福
清水 龍心	隆也	阿三
泉 小夏	桂輔	東面縄
池上 星愛	強	東伊仙東
郷 桃香	和彦	犬田布
柿山 志麻	太志	犬田布
常笑生	峻亮	西目手久
福田 おとは	一	阿三
福永 彩来	光幸	目手久
川越 天喜	隆志	喜念
野島 空来	正裕	犬田布
当山 彩華	等	小島
益岡 凛生	宗一郎	東大田布
森山 琉愛	大希	西伊仙西

ご結婚おめでとう (敬称略)

氏名	出身地
壽肇 (犬田布)	
平口 いづみ (天城町)	



香典返し

※社会福祉協議会受付

○西伊仙西	○西伊仙西	○西伊仙東	○中伊仙東	○西伊仙西	○八重竿	○崎原	○西伊仙西
本田 ミヨさん	得岡千津子さん	琉子 進さん	和代さん	實村 博美さん	杉並 廣規さん	盛本 博典さん	西伊仙東 盛本 博典さん
(亡)本田 武夫さん	(亡)得岡誠二郎さん	(亡)琉子 夏子さん	(亡)實村 博美さん	(亡)杉並 規子さん	(亡)盛本 ヨシさん	(亡)盛本 ヨシさん	(亡)盛本 ヨシさん
より金一封							

